

しやしんやさん

小川未明

青空文庫

あつい 日^ひでした。正^{しょう}ちゃんはおおぎりの 木^きの 下^{した}で、すべりだいに のって あそんで いました。

そこへ、かみの ながい しゃしんやさんが はいって きて、
「ひとつ うつさせて くださいませんか。」

と たのみました。この しゃしんやさんは きかいを さげて、
ごようを ききに あるくのです。

「子^こどもを とって もらいましようか。」
と、おかあさんは おっしゃいました。

「かしこまりました。」

しゃしんやさんは、正^{しょう}ちゃんを すべりだいの 上^{うえ}へ かけさ

せ、おねえさんに ランドセルを しょわせて、下へ たたせま
した。

おねえさんは 小学一年生です。

「ぼっちゃん、お口を 小さいで。」

と、しゃしんやさんが いいますと、正ちゃんは、ああと 口
を あけました。

「ぼっちゃん、いい 子ですから、わらって くださいね。」
と、しゃしんやさんが いいますと、正ちゃんは、したを ペろ
りと だしました。

これを みて いた おともだちは、正ちゃんの わんぱくに
あきました。

「正ちゃんしょうちゃん ごらんなさい、おねえちゃんは おぎようぎが いいこと。」

と、おかあさんが おつしやいました。

「いいえ、ぼっちゃんも おぎようぎが よろしいですよ。さあ、うつしますから。」

と、しゃしんやさんが うつそうと しました。

すると、正ちゃんしょうちゃんは するすると すべりだいを すべりました。しゃしんやさんは こまって しまいました。

「この つぎに しましようか。」

と、おかあさんは おつしやいました。

かんがえて いた しゃしんやさんは、すっかり うつす よ

ういを してから、

「さあ、おじょうさんも ぼっちゃんも、ようく おかあさんの
 おかおを ごらんなさい。」

と いいました。

ふたりは、やさしい おかあさんの おかおを みました。か
 たときも わすれない おかあさんだからです。

その とたん、パチンと おと音が して、

「よく とれました。」

と、しゃしんやさんは あいさつを いたしました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：Juki

2012年7月16日作成

2012年9月28日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

しやしんやさん

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>